

於 二宮町教育委員会事務局

平成27年7月30日

二宮町教育委員会会議録

(定例会)・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 13時 00分

2. 閉会時間 17時 20分

3. 教育長名 府川陽一

4. 署名委員

5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	蓮 實 茂 夫
2	○	山 内 み どり
3	○	小 林 徳 博
4	○	吉 田 美 佳 子
5	○	府 川 陽 一

6. 出席者氏名
教育次長 宮川康廣
教育総務課長 黒石徳子
生涯学習課長 三浦牧子
教育総務課指導班長 下澤純二
教育総務課指導班指導主事 新井久美
教育総務課教育総務班長 竹本直昭
教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

7. 傍聴者 15名

8. 調製者 教育総務課教育総務班主査 寺口瑞紀

平成27年度7月教育委員会定例会会議録

日時：平成27年7月30日（金）

13時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

— 開会宣言 —

（委員長）平成27年度7月定例教育委員会議を開催します。

— 署名委員の指名 —

山内委員を指名する。

— 教育長事務報告 —

（教育長）7月事務報告を資料に基づいて行う。

（教育次長）7月政策会議報告を資料に基づいて行う。

- （蓮實委員）学校給食センター異物混入対応に関するガイドラインについて議会に報告したということですが、今回の異物混入を受けて、ガイドラインの改正等はしたのでしょうか。
- （教育総務課長）その都度、ガイドラインの修正を行っていきたいと思いますが、実際に異物混入がおこってしまった時、どのようにしていくかという部分が十分ではないので、今後補足していきたいと思います。
- （小林委員）給食センターの職員に変化はありましたか。別件で、中学生の防災訓練への参加は、非常によい事ですが、以前、せっかく参加をしたのに、地域の活動の中で何をしたらいいのか分からないということがありました。参加してくれた中学生へ自分たちの役割をしっかりと伝えていただきたいと思います。
- （教育総務課長）給食センターへは、今まで以上に意識を高く持つように指導しました。現場の職員も今回の出来事を大変重く受け止めていました。また、7月15日には教育長が給食センターへ行き、職員全員に改めて指導をいたしました。
- （教育長）防災訓練の中学生の参加ですが、防災会議の中で、各地区長に中学生の役割について、再度お願いをさせていただきました。防災安全課が地区長に4つほど具体的な例をあげて、防災訓練当日の役割について説明をしていました。給食センターのガイドラインについては、給食をストップするかどうかなど、実際にどのようにするのは難しい問題がありますので、今後調整させていただきます。
- （吉田委員）給食のガイドラインについては、学校での対応を決めていただきたいと思います。混入の事実を知って対処したいので、対応の仕方が担任の先生にまで行きわたっているようにしていただきたいです。中学生が防災訓練に参加するというのはとても高いハードルだと思います。

ますので、学校できちんと周知をしていただいで、学校と地区長連絡協議会と保護者が連携して、有意義な活動として方向づけていただきたいと思ひます。

- （小林委員）今回の件を検討し直し、ガイドラインに事例として載せていくことによつて、素早い対応につながると思ひますので、対応をお願いいたします。
- （蓮實委員）総合的な学習活動の中で、二宮西中学校は防災訓練に参加して、防災訓練について発表を行つていくということです。二宮中学校は、どうなのでしょう。
- （教育総務課長）二宮西中学校は総合的な学習の時間で、地域を知つていくという学習を1年生の時から行つています。3年生の時には、実際に地域に出て、危険な所を調べ、防災訓練での取り組みを地域の方々に発表し、意見交換をするという取り組みを行つています。二宮中学校も、地域を学習する取り組みというは行つていますが、防災訓練にどのように対応しているのか把握出来ていません。地域に対する取り組みとして、防災訓練にも参加しようという呼び掛けは行つております。

（教育総務課長）教育総務課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

（生涯学習課長）生涯学習課の事業報告・事業予定について資料に基づいて説明する。

- （蓮實委員）図書館班事業予定にインターンシップ受け入れとありましたが、二宮高校生のインターンシップと、中学生の体験の違いはどのようなものなのでしょう。
- （生涯学習課長）高校生は3日間受け入れを行つています。内容としては、受付、配架、本を棚に戻すなどの実習を行つています。また、図書館間ネットワークについても説明を行つています。中学生は1日だけなので、カウンターの後ろからの見学や、書架の整理などが中心です。高校生に比べ短縮した内容になっています。
- （蓮實委員）高校生は希望制なのでしょう。
- （生涯学習課長）希望があると、学校から連絡があります。
- （小林委員）社会教育委員会議のテーマ研究会として放課後子ども教室のことがありましたが、どのような計画があつて、どのように活かしているのでしょうか。
- （生涯学習課長）年3回を計画しています。その他に社会教育委員会議というものを3回行つています。初回はフリートークのような形です。2回目はもう少し内容をしぼつて、深めていきます。3回目はまとめていき、意見を伺います。
- （小林委員）次年度の予算や計画に反映させるのが大事ではないでしょうか。今後たくさんの子どもたちを受け入れるのであればマンパワーは重要になってきます。予算編成を考えると期限が決まってくると思ひます。それまでに、3回の研究会を終わらせて、方向性を定めて、予算に反映させていただきたいと思ひます。
- （山内委員）放課後子ども教室が、4回無事に終わったという事ですが、毎回50名程が参加しているようで、盛り上がつていて好評のようですが、何か問題があるところはあつたのでしょうか。広報の掲示板にもボランティアの募集をおこなつていたようですし、以前もボランティアが集まらないというお話が出ていたように思ひますが、今回何か課題になっているところがあれば、教えていただければと思ひます。

- （教育長）お迎えに来ることが出来る家庭のみ参加できるという点が、問題になっています。ボランティアの方を上手く活用していくような方法を検討する必要があると思います。ただ、ボランティアの方がなかなか集まらなくて、ニーズがあるのに、これ以上の拡大が出来ない状態になっています。アンケートを取ると、ボランティアをやってみたいという人はいるのですが、実際に応募が来ない状況です。ボランティアをどうやって増やしていくのかというのが今後の課題です。
- （山内委員）参加する子どもの人数は、50人という人数は変わらないのでしょうか。もう少し、増えても大丈夫なのでしょうか。
- （教育長）今現在、校庭の安全確保が出来ないため、体育館を使っている状況です。校庭も子どもたちが自由に遊べるようにしていく方向で考えていきたいと思いますので、人数も増やしていけるようにしたいと思います。
- （山内委員）両親が働いている家庭が多いので、送迎が必要というのは、大きな壁になってしまっていると思います。二宮の中で、例えばリタイアした方等が、このような事業に参加していけるような方法を考えていただけたらと思います。
- （吉田委員）社会教育委員、環境浄化推進委員は、どのような方で構成されているのでしょうか。
- （教育次長）社会教育委員についてですが、二宮町社会教育委員条例で、8名以内、学校教育、社会教育関係者、学識経験者等の中から、教育委員会が委嘱することになっています。内容は、社会教育に係るもの全般です。環境浄化推進委員については、正式名称が青少年環境浄化推進委員といます。目的としては、青少年を取り巻く社会環境の浄化活動の推進、町内のパトロールなどで、人数は12名以内となっています。
- （吉田委員）教育委員会から推薦するものなのでしょうか。地区から出すものなのでしょうか。
- （教育次長）教育委員会が委嘱するものです。地区からの推薦等はございません。
- （吉田委員）このような委員さんの活動が、教育委員会の会議と重なる部分もあると思いますので、お互いにどういう話し合いの結果が出たのかという情報だけでも交換することが出来たらいいと思います。また、こういう活動をもっとPRしていくことも大切ではないでしょうか。
- （山内委員）社会教育委員の決定を4月に行った記憶があります。その後、一緒に話し合いを行う機会というのがありませんので、そういう機会を持つことが出来ればいいと思います。

— 付議事項 —

請願第1号 平成27年度義務教育諸学校使用教科用図書採択に関する請願について

（教育総務課長）平成27年度義務教育諸学校使用教科用図書採択に関する請願について資料に基づいて説明する。

- （小林委員）この請願の中で述べられている教育基本法第1条や自由民主主義についてなど、基本的な採択方針は、既に神奈川県や二宮町で定めていて、その採択方針に基づいて今回の採択の検討も進められていると思います。
- （吉田委員）二宮町の採択方針の中でも、こちらの請願の内容を十分考慮していますし、学校や児童・生徒、地域の特性についても十分配慮して採択の検討を進めています。

○（蓮實委員）二宮町は、県の採択方針に沿って行っていますので、今から採択方針を考えるとすることは必要ないのではないかと思います。

（委員長）各委員に、請願第1号について諮る。
委員全員一致でこの請願書は不採択とされる。

議案第5号 平成28年度小学校使用教科用図書採択について

（教育長）平成28年度小学校使用教科用図書採択について、提案理由を説明。

（教育総務課長）平成28年度小学校使用教科用図書採択の内容について資料に基づいて説明。

○（小林委員）発行者でなくなってしまった出版社はありますか。

○（教育総務課長）変更はございません。

（委員長）各委員に、議案第5号について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第6号 平成28年度中学校使用教科用図書採択について

（教育長）平成28年度中学校使用教科用図書採択について、提案理由を説明。

（教育総務課長）平成28年度中学校使用教科用図書採択の内容について資料に基づいて説明。

（教育長）各委員に種目ごとに諮る。

〔国語の国語について〕

○（小林委員）学習指導要領の中で、言語活動の充実という事があげられていますので、国語の果たす役割はとても大きいと思います。言語活動の話すこと、書くことなどバランスのとれたものはどれかという事で考えさせていただきました。「光村」は、文学作品についても深いものがあります。人生観・社会・人間・自然など、様々なジャンルのものがバランスよく含まれていると思います。

○（蓮實委員）「光村」は、学習の見通しをもって進められるように、ステップが分かりやすく表示されていると思います。また、内容もわかりやすく、小学校との継続性も考えると、「光村」がいいのではないのでしょうか。

○（吉田委員）「東書」の教科書は写真などが適切に取り入れられていて、分かりやすいと思います。

○（教育長）「光村」は、領域が分かりやすく示されていて、1年から3年生までの学習の見通しがもてて、子どもの学習意欲を喚起するような構成になっていると思います。

○（山内委員）小学校で、「光村」を使っていますし、中学校の1年生から2年生、3年生への継続性も考えて作られておりますので、「光村」がいいのではないかと思います。

○（小林委員）「光村」は全学年で東日本大震災をテーマに扱っていますし、それもいい点ではないかと思いました。

（教育長）「光村」の意見多数を受け、各委員に国語の国語「光村図書出版」について諮る。
委員全員異議なし。

〔国語の書写について〕

- （吉田委員）「学図」は、硬筆の部分の題材がとても多く、実際に記入するようなどころもあって、実用的だと思いました。しかし、書写は時間も限られているので、手本としての機能も必要です。また、毛筆は筆遣いが丁寧に解説されていることが大切です。朱墨での示し方がとても具体的で分かりやすい、「光村」を推したいと思います。
- （山内委員）小学校も書写は「光村」を使っていて、小学校から中学校へのスムーズな移行が大事だと思います。小学校で学習したことを確認してみようというところが、「光村」は分かりやすいです。また、「光村」は後ろの資料の部分がとても充実していて、封筒や願書の書き方、原稿用紙の使い方など生活に密着した活用の場面が多く示されていて、いいと思いました。
- （小林委員）国語の教科書と関連があった方がよいとは思いますが、「東書」は、毛筆の教材の横にインデックスがついていて、楷書から行書へスムーズに移行出来るのではないかと思います。また、毛筆は筆遣いをリズムで覚えるのが苦手な子にとっては親しみやすいと思います。「東書」はそのような点が優れていて、いいのではないかと思います。
- （蓮實委員）「光村」は小学校から使っています。使いやすいので、「光村」がいいのではないかと思います。
- （教育長）国語と合わせた方がいいと思いますので、「光村」がいいと思います。

（教育長）「光村」の意見多数を受け、各委員に国語の書写の「光村図書出版」について諮る。
委員全員異議なし。

〔社会の地理的分野について〕

- （蓮實委員）「帝国」は、写真が多く扱われていて、地域の様子が身近に伝わるように工夫されています。東京ガールズコレクションなど新しい資料も載せられていて、生徒の興味をひくような配慮がなされています。また、これからの社会を考える上で、子どもたちに知ってもらいたい題材として、環境・防災など今日的な課題を扱ったコラムが多く取り上げられていると思います。実際に校外学習で鎌倉に行くので、鎌倉を扱ったハザードマップの学習が活用しやすく、いいのではないのでしょうか。
- （小林委員）「帝国」に『やってみよう考えてみよう』が設定されています。地理というのは、子どもたちの世界を広げるのに重要ですので、資料を見るだけでなく、この資料からこういうことを考えてみようという視点をもつことが出来る点で、「帝国」がいいのではないのでしょうか。「東書」も、キャラクターを使って、考えるきっかけ作りがなされていると思いますが、総合的に考えて、「帝国」を使ってみたいと思いました。
- （教育長）「帝国」は新しい資料を多く扱っていて斬新で、コラムも子どもの意欲を喚起する内容と

なっていると思います。

(教育長)「帝国」の多数意見を受け、各委員に社会の地理的分野の「帝国書院」について諮る。
委員全員異議なし。

[社会の歴史的分野について]

- (山内委員)「教出」がいいと思いました。見開きごとで、見やすく分かりやすいです。近世の日本の状況と世界の状況とを上手く結び付けてあり、興味をもって読み進められるような工夫がされています。まとめの部分もすごくまとまっていて、分かりやすい作りになっていると思います。また、音楽の歴史も西洋の部分と日本の部分が上手に合わさって描かれていると思いました。また、小学校でも「教出」を使っているの、やはり小学校との連続性もいいと思います。
- (小林委員)「教出」は、見開きページで資料も豊富でいいのですが、小単元のタイトルが例えば、『生き抜く知恵』というような文学的な表現が多いような気がします。文学的な表現もいいのですが、ダイレクトに伝えた方が子どもたちには分かりやすいのではないかという気がしました。歴史を学ぶという事は、過去の歴史から自分の生活を学ぶことだと思います。そういうことから歴史学習の意味や学習の仕方を丁寧に示している「日文」がいいと思います。編ごとにステップを分かりやすく表現していることも評価できます。
- (吉田委員)「東書」は資料も多く小学校で学んだ人物がまとめられていて、歴史が苦手な生徒でも取り組みやすいと思いました。一方で、「日文」は、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面になっていると思いました。神奈川で推奨しているインクルーシブ教育や、二宮町でも支援が必要な子どもたちにも一番いいものを教科書として使ってもらいたいと思い、「日文」を評価いたしました。
- (蓮實委員)「日文」は、グラフ、資料、図表が多く載っています。歴史は事実を伝えることも重要ですので、「日文」がいいのではないのでしょうか。
- (教育長) 極端な思想に偏らない、バランスの取れた教科書が望ましいと思います。政治的中立性・安定性が保たれ、多面的・多角的に子どもたちに自ら考えさせるものがあると思いますので、統計等の資料が新しく、バランスが取れている「日文」が優れていると思います。

(教育長)「日文」の意見多数を受け、各委員に社会の歴史的分野の「日本文教出版」について諮る。
委員全員異議なし。

[社会の公民的分野について]

- (小林委員) 公民は学ばなければいけないことがたくさんあります。資料が豊富であり、そこから友達同士で話し合ったりできるということが大事なのではないのでしょうか。そのようなことから、「日文」が良いと思います。見やすく、学習の見通しが立てやすい内容となっている点も評価できます。
- (山内委員)「東書」がいいと思いました。資料が多岐に渡り、考える方向付け、話し合おうというプロセスが丁寧に示されています。たくさんの資料の中から、自分たちで考えていくことが必要だと思いましたので、「東書」を推薦させていただきます。
- (蓮實委員)「東書」がいいと思いました。言語活動について一本筋が通っていて、その他のものもページのバランスが取られています。公民の時間が限られているなかで、ピンポイントで扱われてい

るコーナーが多岐にわたって掲載されていて、資料も豊富で、考えながら学習を進められると思います。

- （教育長）「東書」は、具体的な課題を取り上げていて、『やってみよう』『公民にチャレンジ』など、言語活動に取り組みやすく、読みやすいです。子どもにとって難しい公民ですが、身近な題材を通して学べますし、国際社会で生きる、平和で民主的な国家を形成していくという公民的資質を養うという、文部科学省の指導要領の目標に沿った観点で「東書」は優れていると思います。

（教育長）「東書」の意見多数を受け、各委員に社会の公民的分野の「東京書籍」について諮る。
委員全員異議なし。

〔地図の地図について〕

- （蓮實委員）先程、地理的分野で、「帝国」が採択されました。「帝国」は、コラムや特設ページで、今日的な課題などが丁寧に示されていると思います。また、小学校から使っているので、マークや地図の表記なども違和感がないと思います。
- （小林委員）「東書」は、テーマごとに資料索引が作られ、探しやすくなっているので、使いやすいのではないかと思います。
- （吉田委員）「帝国」が、小学校から使い慣れていますし、また地図から読み取る学習活動、言語活動といったテーマを取り上げているのがいいと思いました。
- （山内委員）「帝国」が、見やすいと思います。

（教育長）「帝国」の意見多数を受け、各委員に地図の地図の「帝国書院」について諮る。
委員全員異議なし。

〔数学の数学について〕

- （蓮實委員）「啓林館」は別冊がついていて、自学自習しやすいと思います。実際の生活の中でどのように活かされているかが考えられていると思います。また、小学校から使っているので、使い慣れていますし、いいと思います。
- （小林委員）数学は繰り返し学習することが大切です。そういう点から考えると、「日文」や「東書」がいいと思います。数学は好き嫌いがはっきりする教科ですが、「東書」は苦手な生徒に対して、漫画を取り入れる、問題文のスペースを大きくするなど、配慮されています。
- （蓮實委員）「啓林館」は、数学的な活動が多く取り入れられているのと同時に、『話し合ってみよう』などがあり、言語活動の取り組みもしやすいのではないかと思います。
- （教育長）「啓林館」は、別冊が充実していて、自学自習しやすく、また、小学校からずっと使い続けているので、子どもにとって使いやすいと思います。
- （吉田委員）「啓林館」は、別冊がついていて、繰り返し学習をすることが出来て、数学の苦手な子どもでも使いやすいと思います。
- （山内委員）数学の苦手な子どもが使いやすく、また得意な子も得意な所を伸ばしていくことができますので、「啓林館」がいいと思います。
- （小林委員）「啓林館」にするのであれば、別冊の扱い方について先生がしっかりとした考えを持た

ないといけないと思います。別冊を学習指導にどのように取り込んでいくのか共通理解を図っていただきたいと思います。

(教育長)「啓林館」の意見多数を受け、各委員に数学の数学の「新興出版社啓林館」について諮る。委員全員異議なし。

[理科の理科について]

- (蓮實委員)「啓林館」がいいと思います。別冊『マイノート』があり、基本、応用、活用まで詳しく掲載されていて、学習の定着がされやすいと思います。
- (小林委員)「大日本」は、単元がきちんと位置付けられていて、観察や実験についての説明が多く丁寧です。課題も明確に示されていて、子どもにとって分かりやすい教科書ではないでしょうか。
- (吉田委員)理科離れが進み、実験の時間をなかなか取ることが出来ない現状で、実験結果を詳しく説明している「啓林館」がいいと思います。また、神奈川県のことを多く取り上げられているのもよいのではないのでしょうか。
- (教育長)説明が多く、知識が豊富なところなどから、「啓林館」がいいと思いました。

(教育長)「啓林館」の意見多数を受け、各委員に理科の理科の「新興出版社啓林館」について諮る。委員全員異議なし。

[音楽の一般について]

- (山内委員)教室で使いやすいものがよいと考えると、「教芸」がいいと思います。写真や資料がたくさん載っていて、音楽史と西洋史なども、工夫されていて、とてもいいと思います。民謡や琵琶、ポピュラーソングやジャズなども載っていて、視野を広げるのにとってもいい教科書だと思います。
- (吉田委員)「教芸」は、楽典について、多く載せられていて、振り返りなどもあり、比較的分かりやすくよいと思いました。合唱曲に伴奏譜がついていて、実用的に使えると思いますので、「教芸」がいいと思います。
- (教育長)音楽は、時間も短く分かりやすいものがいいと思いますので、「教芸」がいいと思いました。

(教育長)「教芸」の意見多数を受け、各委員に音楽の一般の「教育芸術社」について諮る。委員全員異議なし。

[音楽の器楽合奏について]

- (山内委員)幅広いジャンルにわたっている「教芸」がいいと思います。ギターが、クラシックギターだけでなく、エレキギターやベースまで載せられていて、子どもが音楽に興味を持ちやすいと思いますし、打楽器の奏法などの実用的なことも載せられていますので、「教芸」がいいと思います。
- (吉田委員)「教芸」は写真の配置がすっきりとしていて、目次なども見やすくいいと思います。音楽の一般との整合性も考え、「教芸」がいいのではないのでしょうか。

○（教育長）構成が見やすく、分かりやすい「教芸」がいいと思います。

（教育長）「教芸」の意見多数を受け、各委員に音楽の器楽合奏の「教育芸術社」について諮る。
委員全員異議なし。

〔美術の美術について〕

- （蓮實委員）「日文」のユニバーサルデザインについて特別支援教育の専門家の校閲を受けているというのが、評価されるのではないのでしょうか。鑑賞作品が豊富であり、基礎的な技能を多様な表現方法を使って表していて、推薦したいと思います。
- （小林委員）「開隆堂」が望ましいと思います。生徒の創作意欲が湧くような教科書だと思います。生活と美術、社会と美術をつなげるような工夫がされていて、生徒になじみやすいと思います。また、生徒の作品の掲載数が多いのもいいと思います。
- （山内委員）「開隆堂」は、小学校の図画工作から中学校への美術への移行がとても分かりやすく、楽しいと思います。生徒が制作しているところが載っているなど、表現と鑑賞のバランスが取れていて、いいと思いました。また、彫刻刀の安全な使い方なども載っていて丁寧な「開隆堂」がいいと思います。

（教育長）「開隆堂」の意見多数を受け、各委員に美術の美術の「開隆堂出版」について諮る。
委員全員異議なし。

〔保健体育の保健体育について〕

- （山内委員）「学研」を推したいと思います。見開きで流れがまとまっていて分かりやすく、自己形成、心身の発達について、発達段階の状態を分かりやすく表示されていると思います。自分で自分を見つめなおそうというテーマの作り方、ストレスについてなど、流れとしてまとまっている「学研」がいいと思います。
- （吉田委員）子どもに興味を持たせるように、イラストや写真を上手く配置していて、自分のこととしてとらえ、活用しやすい「学研」がいいと思います。
- （小林委員）思いやる心やユニバーサルスポーツについても触れている、「学研」がいいと思います。

（教育長）「学研」の意見多数を受け、各委員に保健体育の保健体育の「学研教育みらい」について諮る。委員全員異議なし。

〔技術・家庭の技術分野について〕

- （吉田委員）「開隆堂」が、実習例が豊富に示されておりたくさんの事例から選択できると思います。「東書」は、実技が多く取り上げられていて、マニュアルとして使った時に使いやすく、敬遠しがちな子でも使いやすかったです。
- （蓮實委員）「東書」は目当てが示されており、振り返りができるページもあるので活用がしやすいと思います。イラストもあって分かりやすく、大きい版のため、資料が大きく分かりやすいと思います。

す。また、開いたときに閉じないための工夫もされていて、使いやすいと思います。

○（教育長）「東書」は家に帰っても開きたくなるような魅力をもった教科書だと思います。

（教育長）「東書」の意見多数を受け、各委員に技術・家庭の技術分野の「東京書籍」について諮る。
委員全員異議なし。

〔技術・家庭の家庭分野について〕

○（吉田委員）「教図」の教科書は、家庭・家族について扱われているところや、日常生活の中で意識する機会が減っている年中行事が示されているところが、とてもいいと思いました。

○（山内委員）版が大きく、開きやすく、資料が多くて分かりやすい、「東書」がいいと思います。よりよい食生活をめざしてというところで、食の安全について取り上げられていて、よいと思いました。IHについても紹介している「教図」もいいかと思いましたが、やはり版が大きい「東書」がいいと思います。

○（小林委員）包丁の扱い方で、食材の原寸大写真が掲載されていて、具体的で分かりやすい「教図」がいいと思います。その他にも、住まいの工夫の具体例があり、日常生活に密着したところがいいと思いました。

○（蓮實委員）「教図」の方が、紙面構成が見やすいです。また、『自立度チェック』『クイズ』など意欲を高める工夫がされている「教図」がいいと思います。

（教育長）「教図」の意見多数を受け、各委員に技術・家庭の家庭分野の「教育図書」について諮る。
委員全員異議なし。

〔外国語の英語について〕

○（小林委員）どの教科書も、小学校の外国語活動でつちかったものを大切にしていると思いました。言語活動ということ考えると、『聞く』『話す』『書く』活動がバランスよく活動できるようになっている「三省堂」がいいと思います。また、英語は3年間の中で継続して学習すると学習指導要領にありますので、継続性を考えると「三省堂」がいいのではないかと思います。レッスンの中に、パートが分かれていて、その中で繰り返し分かりやすいように説明がされていて、とても使いやすいと思います。

○（蓮實委員）「東書」も3年間を通じたテーマを分かりやすく示していて、いいと思います。また、登場人物が11人いて、出身地がそれぞれ紹介されていて、それが楽しくてわかりやすいと思います。

○（小林委員）「三省堂」も様々な国の人達が登場して、その国の文化を紹介しています。

○（教育長）学習イメージを持って、勉強しやすく、また題材が自然科学・平和・生命の尊重・正義責任・国際教育などしっかりテーマを持って、感性に訴えかけるようなものになっている、「三省堂」がいいと思います。

○（吉田委員）言語教育なので、実際に使えるということが大事なのです。「三省堂」は小学校の教育を踏まえていて、さらに、日本については広島をとりあげていて、海外から見た日本が取り上げられているので、「三省堂」がいいと思います。

(教育長)「三省堂」の意見多数を受け、各委員に外国語の英語の「三省堂」について諮る。
委員全員異議なし。

(教育長)各委員に、審議した結果を議案第6号として諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。

議案第7号 平成28年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択について
(教育長)平成28年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択について、提案理由を資料に基づいて説明。

(教育総務課長)平成28年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択の内容について資料に基づいて説明。

- (小林委員)実際の使用希望はあるのでしょうか。
- (指導班指導主事)平成27年度は一色小学校から文部科学省著作教科書の希望がありました。平成28年度は、二宮西中学校、一色小学校から文部科学省著作教科書と一般図書の利用希望が出ています。

(委員長)各委員に、議案第9号について諮る。
委員全員賛成により、議案は承認される。
また、ホームページへの公開についても了解を得る。

— 報告・協議事項 —

(1) 平成26年度学校給食費会計報告について

(教育総務班長)平成26年度学校給食費会計報告について資料に基づいて説明。

- (小林委員)未納の方の給食費は、どうしているのでしょうか。
- (教育総務班長)残額等の中からまかっています。
- (小林委員)学校側も、訪問するなどして、未納の方から回収する努力をしていると思いますが、具体的にどのように行っているのでしょうか。
- (教育総務班長)未納者への対応ですが、第一段階として、学校単独でまずはお話してもらい、それでも難しい方は、教育総務課で一緒に行き、お話をさせていただいております。
- (吉田委員)未納者対応への訪問等は、担任の先生が行くのでしょうか。
- (教育総務班長)教頭先生が対応されていることが多いと思います。
- (吉田委員)二宮町は、未納者が多いほうなのでしょうか。
- (教育総務課長)県内では、多い方ではないです。
- (小林委員)今年は、大分努力をしてこれだけ減らしたということですね。

- （教育総務班長）7月14日現在の未納額が、130万円程となっています。昨年の今頃は、150万円ぐらいでした。
- （吉田委員）1年間の給食費はいくらぐらいですか。
- （教育総務班長）小学校は、44,550円、中学校は、52,800円です。
- （吉田委員）未納者に対しては、努力もしていただいたうえで集金が難しくて仕方のない部分もあると思いますが、残額の部分は、どうなのでしょう。
- （教育総務課長）収支差引残高としては350万程の残額がありますが、食材の調達や気候の変動などがあって、先にお金を使ってしまうことが難しく、控えていたらそれ程食材の値段が上がらなかつたりして、なかなか難しいものがあります。
- （吉田委員）不満が重ならないよう、こつこつと説明をしていくのが大事だと思います。収支差引残高があるのでしたら、最後にデザートをつけるなど、使う工夫をしたあとで、繰り越し分についてはきちんと説明をすることが大切だと思います。

（2）その他

ガラスのうさぎ平和と友情のつどいについて

（教育総務課長）ガラスのうさぎ平和と友情のつどいについて教育総務課長から資料に基づいて説明。

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について資料に基づいて説明。

— 閉会宣言 —

（教育長）平成27年度7月定例教育委員会議を終了いたします。

17時20分 終了